

參考資料

●市民意向の把握

推進計画では、基本計画策定の際には、市民参加を行いながら進めるとしています。以下には、多く寄せられた意見等について集約しました。共通で一番多かった意見は「児童の安全面の確保」についてです。この視点から、学校施設と地域施設のゾーンの区分けや出入り口を分けることについての提案が多く挙がりました。一方で、小学校への複合化により期待する声として、学校施設の地域開放、多世代交流、地域防災機能の強化等がありました。学習活動の多様化や新型コロナウイルス感染症対策から、レイアウト変更可能な教室等、工夫した空間づくりに関する提案もありました。また、小平第十一小学校の特色として、ヤギの飼育（いのちの学習）をしていることから、動植物との触れ合い等、自然環境を引き続き大事にしてほしいという意見もありました。

関係組織の意見

期 間：令和2年7月～令和3年2月

回答者：24名（学校経営協議会、PTA、青少年対策地区委員会、民生委員・児童委員）

概 要：以下の3つの視点から、小平第十一小学校に関する組織の方に意見を伺いました。

【学校の建て替え】

- ・移動しやすい学校で、体育館は校舎の近くにしてほしい。 ・プールは地下か屋上(屋根付)を希望する。
- ・学校開放から特別教室は1階に配置した方がよいと思う。 ・明るく見える教育が実践できる建物を期待する。
- ・可動式間仕切り等を利用し、目的によりレイアウトを変更できるようにしてはどうか。のびのび過ごせる空間がほしい。
- ・環境に優しく、緑が多い学校を希望する。動植物と触れ合え、飼育できる環境を残してほしい。
- ・木材を使用した温かみのある校舎がよいと思う。

【施設の複合化】

- ・地域施設と学校は防犯上、管理上から、ゾーンを分けられた方がよい。
- ・バリアフリーで、様々な人が無理なく利用できる施設を期待する。
- ・これからの学校教育は、様々な環境から学ぶことが必要だと思うので、複合化はよいと思う。
- ・大人と子どもが共に学ぶことを楽しめ、共に努力、苦勞をしている姿を見せ合え、親近感や励みとなれる場になってほしい。

【地域コミュニティの醸成】

- ・地域住民と子ども達との交流の場となることを期待する。学校施設を地域に開放してはどうか。
- ・多世代交流を期待する。 ・地域防災機能の強化を期待する。 ・皆が役立ちたいという気持ちを大事にしてほしい。
- ・子どもたちの放課後の居場所となり、地域の大人と子どもが顔見知りになれるとよいと思う。
- ・畑のようなスペースがあると、小平野菜を知る機会ができる。
- ・農家や企業と連携し、働くことがイメージしやすい環境を作るのはどうか。

【その他】

- ・小学校では様々な経験ができる場であってほしい。
- ・施設や空間を共用することでスムーズな支援と相談へ繋がっていくことを期待する。



教職員アンケート

時期及び回答者：【1回目】令和元年12月～1月 回答者14名／【2回目】令和3年2月 回答者12名

概 要：以下の視点から、小平第十一小学校の教員に意見を伺いました。

【教育活動を行うにあたって必要な空間・機能】

- ・物が増えていることや、落ち着いて児童が過ごせるよう教室は広くしてほしい。
- ・車椅子利用者の通りやすさや、交流が生まれるよう廊下は広くしてほしい。
- ・雨天時、コロナ対策、学年行事など多様な活動に対応できるホール、多目的室がほしい。
- ・熱中症対策等から体育館に空調設備がほしい。 ・プールは天候に左右されない屋内を希望する。
- ・セキュリティ面や管理のしやすさから、教室内にランドセル等を収納できる棚や個別ロッカーを設置してほしい。
- ・トイレは洋式で清潔な空間を期待する。

【地域施設との複合化に期待する点／不安な点】

期待する点：地域や高齢者との関わりを期待する。

不安な点：児童の安全面の確保が心配である。個人情報も多く扱うため管理が心配である。
学校スペースがきちんと確保されるか心配である。



利用者・利用団体ヒアリング

時期：令和2年12月 計3回開催 / 参加者：延べ35名

概要：小平第十一小学校へ複合化する花小金井北公民館、花小金井北地域センター、十一小学童クラブの利用者を対象に、以下の視点からヒアリングを行いました。

【現施設で利用しやすい点、残したい点等】

- ・倉庫やロッカーがあると利用しやすい。
- ・高齢者が多く、荷物もあるため駐車場が必要である。
- ・部屋の広さ、和室があると利用しやすい。
- ・飲食可能な運用を残してほしい。
- ・学習の場を確保してほしい。
- ・課題点として、調理室がないため、あると良い。

【小学校へ複合化されるにあたって考慮すべき点】

- ・児童の防犯面が心配である。一般利用者と児童の出入り口は分けた方が、安全面が保たれると思う。
- ・利用時間の整理等、運用のルールを決める必要がある。
- ・駐車場に関する安全な動線の確保が必要である。
- ・教育活動の支障にならない造りとしなければならない。

【小学校へ複合化されるにあたって期待する点】

- ・地域や多世代の交流を期待する。
- ・特別教室の地域開放を期待する。
- ・サークル活動の幅が広がることを期待する。
- ・地域の目が加わり、防犯にも繋がることを期待する。

【子どもたちや地域のためにできること】

- ・地域力の還元ができる。
- ・地域の大人が利用しつつも、子ども達の居場所にもなる施設となってほしい。
- ・各施設は避難場所であるため、防災も一緒に考えられると思う。

市民説明会

時期：令和2年9月・11月 計6回開催 / 参加者：延べ59名

概要：小平第十一小学校へ複合化する公共施設について、検討段階と方向性を示した段階で、それぞれ説明会を行いました。

- ・児童の安全面の確保に十分配慮してほしい。 ・障がい者、健常者の垣根を超えた施設としてほしい。
- ・地域がまとまり、コミュニティが回復するチャンスにしてほしい。
- ・公民館のサークル活動の継続が困難とならないよう配慮してほしい。
- ・工事期間中の教育活動や児童への影響に配慮してほしい。 ・学童クラブの面積をきちんと確保してほしい。
- ・複合化後の跡地は、地域活性化等を見据えて、貸付や売却等を考えているか。

オープンハウス

時期：令和3年6月 計2日間開催 / 来場者：延べ96名

概要：「小平第十一小学校等複合施設の整備に関する基本計画」骨子案を紹介しました。

シールアンケート
を行いました。

- ・小平第十一小学校等複合施設で、どんな活動をしてみたいですか？・・・パソコン、ITに関する活動、テレワーク など
- ・小学校や児童のためにできることはありますか？・・・クラブ活動支援、児童の下校を見守る など
- ・今の小平第十一小学校で、好きなおところはどこですか？・・・ヤギがいる、給食がおいしい など
- ・今の小平第十一小学校で、直してほしいことはどこですか？・・・トイレをきれいに、洋式にしてほしい など

その他、小平第十一小学校への出前授業、公民館利用団体への出前講座や花小金井北公民館の定期利用団体の会議等にも参加させていただき、意見交換等を行いました。